木漏れ陽 7月

令和6年7月8日　第80号
発行　佐賀市教育研究所
発行責任者 所長　青柳正文

大事なことは成長すること！

佐賀市教育研究所の歴史は長い。

産声を上げたのは、何と昭和28年です。今年度で 71 年目となります。

そんな時代から脈々と続く教育研究。諸先輩方の熱い情熱を受け継ぎ、次の時代を切り拓く。これは佐賀市教育研究所の使命でもあると考えています。

私も初めて知った時は、「そんな前からあったのか？」とちょっとびっくりしました。佐賀市の教職員の大先輩方が研究を積み重ね、数多くの成果を上げてきたことに敬意を表します。

そんな私も 10年ちょっと前の 2 年間研究所員として勉強をさせていただきました。

研究の中の一つとして印象に残っているのが小中連携「タイムマネジメント」

授業の中で、小学６年生が中学１年生になった時のことをイメージし、平日・土曜日・日曜日に分けて１日 24 時間の生活スケジュールづくりを行いました。

小学6年生は、間近に迫った中学校生活にワクワクドキドキしながら、生活スケジュールを一生懸命考え、24 時間のスケジュール表に書き込みました。頭の中で考えたことを「見える化」するとおもしろいですね。結果は、学校の授業、部活動、食事、入浴、食事、塾、習いごと、ゲーム、インターネット、睡眠等を入れると 24 時間をオーバーしてしまうことがわかりました。

「えーっ、24 時間じゃ足りない」「27 時間になってしまった。どうしよう」等。

そんな時、小学校の授業に参加してくれた中学生の先輩たちが、１グループに一人がアドバイザーとして入り、質問に答え、アドバイスを行いました。「睡眠時間はしっかりとった方がいいよ」「ゲームの時間は少し削ろうか」等の貴重なアドバイス。現実を理解した小学６年生は、前のめりになって先輩の話に耳を傾けていたのが印象的でした。本授業のビフォー・アフターを比較すると、児童の意識が変わり、前向きに中学校生活をイメージするようになり「もっとこうしたい」と新たな意欲を持っていました。残りの小学校生活でも時間を意識した行動ができるようになった児童たちもいました。まさに、そこには成長があったのです。

何歳になっても、タイムマネジメントは大切です。常に自分らしく自分で考え行動するセルフタイムマネジメント力をぜひ身につけてほしいと思います。

研究所員になると、大変なこともありますが、良いこともあります。新たな出会いがあり、絆が生まれたのです。あれから 10数年。その時のメンバーとは再び同じ職場で務めたり、10数年来仲良くなって小中連携を行ったり、飲みに行ったりして、今思えば違った意味で楽しく充実した日々だったなあと思います。

さて今年度も新しい研究所員のメンバーが決定しました。研究所員として頑張ろうと意欲を持っていらっしゃる先生方を心から応援いたします。背中を押してくださった校長先生方にも厚くお礼申し上げます。

働き方改革が叫ばれる中、大変だと思いますが、できる範囲で、「子どもたちの成長、先生方の成長」につながる実りのある研究を行ってほしいと思います。

「大事なことは成長すること!」

さあ、子どもたちが未来を切り拓くたくましい力を身に付けるためには、先生方が自ら主体的に学び、学び続け、学びを生かすそんなステキな教師であってほしいと思います。

佐賀市の子どもたちの「笑顔・成長・幸せ」のために、佐賀市教育研究所研究員の先生方の学びと努力と成長を大いに楽しみにしています。

（学校教育課長　青柳正文）

令和6年度教育研究所がスタートしました。

令和６年度佐賀市教育研究所の顧問及び所員の先生方が決まり、８月５日（月）に委嘱状交付並びに第１回教育研究所員会を予定しております。佐賀市教育研究所は、昭和２８年に立ち上げられ、佐賀市の教育の向上を目指し、研究の浸透と可視化を目指して脈々と続いています。今年度は、「国語部」「算数・数学部」「協働的な学び部会」の３部会で、めざす子ども像分析委員会での分析結果をもとに課題となる部分の授業提案を行っていきます。今年度も、研究発表会の代わりに開催予定の授業研究会ネット配信などの工夫も検討しております。所員の先生方や各学校の先生方に研究を深めていただくために役立つ所員会になればと推進して参りますので是非、研究成果等を共有していただければと思います。 所員の先生の取り組みについては、佐賀市のホームページと７１全校共有共用フォルダに掲載予定ですので、ぜひご覧ください。

課題研究部（国語部）顧問　三瀬中学校　校長　杠幸世							
所員	勧興小学校	教諭	菖蒲彩絵	所員	昭栄中学校	教諭	石丸真由美
所員	赤松小学校	教諭	釘本拓弥	所員	城北中学校	教諭	茂山祐美
所員	本庄小学校	教諭	鵜池彰裕				
課題研究部（算数・数学部）顧問　嘉瀬小学校　校長　江島静佳							
所員	嘉瀬小学校	教諭	大石優佳	所員	城東中学校	教諭	磯部良幸
所員	諸富北小学校	教諭	鶴田陽子	所員	鍋島中学校	教諭	伊東祐輝
所員	東与賀小学校	教諭	松尾紘希				
課題研究部（協働的な学び部）顧問　昭栄中学校　校長　永田康子							
所員	成章中学校	教諭	福島江梨子	所員	城北中学校	教諭	中島麻友美
所員	昭栄中学校	教諭	井上真由子	所員	東与賀中学校	教諭	堤　　淳
所員	城西中学校	教諭	永山智英	所員			

令和6年度個人研究4名の先生に委嘱

一年間研究を積み重ねた成果は、令和７年３月の佐賀市教育研究紀要に掲載予定です。佐賀市の先生方の教師力向上に資す内容で、参考になる取り組みがたくさんありますのでぜひお待ちいただきお読みください。

【６月２８日に第１回の個人研究打ち合わせ会を行い、互いの研究を紹介しました。】

学校名	氏　名	分　野	研　究　主　題（６月２８日現在）
勧興小	榎津優規	国語・社会・体育	自律した学び手を育てる授業の創造 ～自由進度学習を取り入れた単元デザイン～
神野小	藤井祐良	理科	理科を探究的に学ぶ児童の育成 ～児童一人一人の興味・関心を起点とした学習課題の設定を手立てとして～
川上小	豆田稚奈	学活	主体的・対話的に学ぶことの楽しさを実感できる児童の育成 ~合意形成の方策「なるほどタイム」を活用した学級会活動の実践を通して~
富士小	角田晟	算数	算数科において児童が主体的に全員参加することができる授業づくり　～問題づくりの工夫を通して~

６９名の初任者の先生も、指導教員や先輩の先生方に支えられて研修を重ねておられます。研究授業５回を含む校内における年間１５０時間の研修、１３日～１４日の校外研修を計画に沿って行います。困っていることとして、「叱り方、ほめ方、保護者対応等」、時間の使い方も目立ちました。先生方もお忙しいと思いますが、ご自分のエピソード等の具体例を交えて初任者の先生にぜひ声をかけてくださるようお願いします。

（教育研究所指導員　権藤順子）